

# トナリのひろとの回覧板

vol.28

お役にたちます！トナリのひろと

# 佐藤ひろと

世田谷区議会議員・区議団政調会長  
oyakuni@sato-hiroto.com  
http://www.sato-hiroto.com



## お知らせ

### 皆様にご協力いただいた署名と声を 世田谷区長へ届けました！



2019年1月28日世田谷区役所にて

- 1 認知症による事故賠償救済制度の創設を。
- 2 首都直下型大地震への対策強化。
- 3 豪雨対策の早急な推進を。
- 4 休日・夜間の認可保育園の新設を。
- 5 小中学校給食の無償化を。



このほど公明党世田谷区議団にて世田谷区長に、署名を提出し、要望をいたしました。世田谷区長からは、「それぞれ世田谷区にとって重要な課題です。真摯に受け止め、取り組んでまいります。」と述べられました。今後、実現に向けて全力を上げます。

今後とも皆様の声を区政に反映するために  
質問・提案をして参りますので、  
ご意見・ご要望をホームページへお寄せ下さい。

### 公明党世田谷区議団

<http://www.komei-setagaya.org>

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷4-21-27 komei-setagaya@komei-setagaya.org

Tel.03-5432-2788~2790 Fax.03-3413-7233

## 挑戦する！

区議会第1回定例会 一般質問・要旨 2019.2.21



### 1 区域外における介護施設整備について

このたび全国初となる杉並区と南伊豆町の両自治体間連携による特別養護老人ホームが南伊豆町に開設された。

- 2025年大介護時代を見据えると需要の割合は高まる一方で、サービス付き高齢者住宅や特別養護老人ホームの新たな整備は区内だけでは、ニーズに応えられないと考える。区域外整備への意識・意向調査を踏まえ、他自治体との連携による具体的な協議に入るべき。

### 2 紙おむつのリサイクル(その2)について

2017年に出た大人用おむつごみの量は、144万7600トン(45リットル/約9651万袋)。

近い将来、各地でおむつごみを処理しきれなく可能性もあり。今般、ユニ・チャーム(株)と鹿児島県志布志市とが地域活性化連携事業にて使用済み紙おむつのリサイクル化が成功。

- 世田谷区として介護施設や病院への回収をベースに本格実施へ向けた具体的な検討に入るべき。

### 3 事前防災について

「事前防災」、すなわち平時における人的・経済的被害を軽減するために未然に対策を講じることが不可欠。

- 豪雨対策について  
来年度における雨水貯留システム(レインステーション)や貯留槽などの整備目標や強化エリアについて具体的な方針を伺う。
- 災害配備型住宅助成制度の創設について  
事前防災の最大のポイントは自助。よって、自宅で避難生活をいかに数日間凌げるのかが最重要となる。住宅用蓄電池、非常用貯水機能付き給水管(住宅用)などをメニューにした助成制度の創設を求める。



## 実現する! その1

### ■ 国際交流が大きく前進します!

海外6都市に拡充へ。

これまでの3つの姉妹都市(オーストリア:ドゥブリンク区、カナダ:ウィニペグ市、オーストラリア:バンパリー市)に加えて、新たに3都市への交流が実現します。

#### フィンランド共和国



教育交流として小中学生の新規派遣を予定しています。

#### 台湾



世田谷区ジュニア・オーケストラの派遣を予定しています。

#### ポートランド市(アメリカ:オレゴン州)



中学生交流事業について検討を開始。環境やまちづくりなど企業体験を通じたキャリア教育を目指します。

## 実現する! その2

### ■ うめとぴあ(民間施設棟)が梅ヶ丘に4月1日よりオープン!

わが党が提案した保健・医療・福祉の大規模複合施設となる「東京リハビリテーション世田谷」が開設しました。ワン・ストップで在宅・通所・入所をご利用いただける「障害者(児)施設」「高齢者施設」「回復期リハビリテーション病院」の3つの機能が備わっています。2020年4月には、区複合棟が開設いたします。



### ■ 区立全小中学校体育館にエアコン設置へ。

昨夏の酷暑を踏まえて、教育環境の改善と災害時の避難所としての環境が整います。



### ■ 学校給食の無償化が10月より実施へ。

世帯年収760万円未満が対象です。

### ■ 2020年4月より世田谷区「児童相談所」が開設します。

これにより予防から相談、保護まで一元的な体制が整います。

## ご挨拶

日頃からの温かなご支援に心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ平成の時代が幕を下ろし、新しい時代へ向かう今、

私たちの生活環境は大きな変化を迎えています。

このような時代において、皆さんの生活の安心と安全を守りぬくには、地域の力を高めることが必要です。そのためには、これまでの慣例・前例を打ち破る、発想の転換が求められます。

常識にとらわれず、次世代を見据え、何としても区民生活を守るために

挑戦してまいります!

今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

佐藤弘人

